

11月10日(日)

2019年度 JACTFL講演会

2019年度JACTFL講演会（慶應義塾大学外国語教育研究センター共催）を下記の通り開催いたします。ポリグロット（多言語話者）としても著名なお二人の講師を招き、多文化共生や多言語学習をテーマにお話を伺います。



多言語・多文化共生とは？

「多言語がつくる豊かな人生
— 多言語学習の秘訣」



ハルペン・ジャック
(春遍雀來)氏

(日中韓辞典研究所(CJKI)
取締役社長)

ドイツ生まれのユダヤ人で十数言語を話すポリグロット。1973年に来日。漢字を体系的に学ぶ方法を考案、外国人向けに『新漢英字典』(研究社)や『講談社漢英学習字典』、『漢字学習辞典エスペラント語版』(日本エスペラント協会)を編纂。

トニー・ラズロ氏
(フリージャーナリスト)



ハンガリー人の父とイタリア人の母の間にアメリカに生まれ育つ。1985年来日、ライター活動開始。小栗左多里さんの漫画『ダーリンは外国人』シリーズのダーリンとしても人気を博している。自他共に認める語学オタクでポリグロット。

「多言語・多文化共生の日常
— 我が家の場合」

日時 2019年11月10日(日)
14:00～17:00

場所 慶應義塾大学日吉キャンパス
来往舎大会議室
<https://www.keio.ac.jp/ja/maps/hiyoshi.html>

募集 100名(要事前申込・参加無料)

申込み <http://bit.ly/30UxXpg>



お問い合わせ jactfl-info-group@keio.jp